

## 令和2年度(2020年度)県民経済計算の概要

県内総生産	(名目) 4兆5277億円	(実質) 4兆4883億円
経済成長率(前年度比)	(名目) $\Delta$ 4.6%	(実質) $\Delta$ 5.2%
県民所得	3兆1375億円	(対前年度比) $\Delta$ 6.1%
一人当たり県民所得	277万円	(対前年度比) $\Delta$ 5.6%

【県民経済計算】 県内または県民の1年間の生産活動で生み出された価値を「生産」、「分配」及び「支出」の3面から捉え、県経済の規模や構造などを明らかにする総合的な指標

令和2年度の県内総生産は、製造業、宿泊・飲食サービス業、運輸・郵便業などで減少したことから、名目でマイナス成長となった。なお、物価変動の影響を除いた実質でもマイナス成長となった。

### 「生産」… 製造業、宿泊・飲食サービス業、運輸・郵便業などが減少

○県内総生産(生産側)は、製造業( $\Delta$ 7.1%)、宿泊・飲食サービス業( $\Delta$ 43.1%)、運輸・郵便業( $\Delta$ 23.0%)などが減少したため、名目成長率は4.6%減となった。物価変動分を除いた実質成長率でも5.2%減となった。

### 「分配」… 企業所得、雇用者報酬が減少

○県民所得は、企業所得( $\Delta$ 29.6%)、雇用者報酬( $\Delta$ 1.5%)が減少したため、全体では6.1%減となった。

○一人当たり県民所得は277万円(前年度比5.6%減)となった。

### 「支出」… 民間最終消費支出、県内総資本形成などが減少

○県内総生産(支出側)は、民間最終消費支出( $\Delta$ 5.1%)、県内総資本形成( $\Delta$ 9.9%)が減少したため、全体では名目で4.6%減、実質で5.2%減となった。

### 【参考】全国の概況

○経済成長率(国内総生産の対前年度増加率)は、名目で3.5%減、実質で4.1%減であった。

○一人当たり国民所得は297万5千円(前年度比6.4%減)となった。

(出典：内閣府「令和3年度国民経済計算年次推計」)

※ 推計方法の見直しや新たに公表された統計の数値を採用したこと等により、遡及改定を行っています。旧推計の計数とは異なるため、令和元年度以前分についても今回の推計結果をご利用下さい。

より詳細な概要につきましては、統計情報室ホームページで詳細をご覧ください。  
([https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/search/detail.asp?d\\_id=4783](https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/search/detail.asp?d_id=4783))